



©北九州市

現小倉北区

紫川

大正中期ごろの紫川右岸、大正町側である。
ここでは木材の集積が行われていた。



現小倉南区

小倉市役所曾根出張所

昭和17年5月、曾根町は小倉市と合併した。
以後、曾根町役場は、小倉市役所曾根出張所となった。これがその建物。
しかし、戦後老朽化したので、昭和34年にモダンな庁舎に改築された。



現小倉北区

お台場址

小倉藩は幕末、外敵に備えるために、台場を造った。文久2年3月起工、4月完工した。

海中に石垣をつき並べたものである。明治の子どもには結構な遊び場であった。

大正7年、当時の小倉製鋼を受け継いだ浅野誠一郎氏がこの付近86万㎡を埋立て、
港を築くと共に各種産業を誘致した。現在浅野町と呼ばれる由縁である。



©北九州市

現小倉南区

堀越の十三塚

小倉南区にある十三塚。十三塚についてはいろいろの説があって定かではないが、
このように完全な形で残っているのは全国的にも珍しいといわれている。

今は一つ欠けている。

真ん中には堀越太郎義長（堀越城主）の墓が建っている。

現在、松の木がほとんど失われている。

（『ふるさとの思い出写真集明治大正昭和北九州市』143ページ掲載）



現小倉北区

魚町電停付近



現小倉南区

北九州都市モノレール 桁建設工事



現小倉北区

名護屋海岸

日明から中原、そして名護屋海岸へと続く海岸は、文字通りの白砂青松の地であった。

名護屋岬は戸畑の区域に入る。大正末期。



昭和十年八月廿一日
下見所重要司合部許可

下見所の全景

小倉競馬倶楽部
法人社

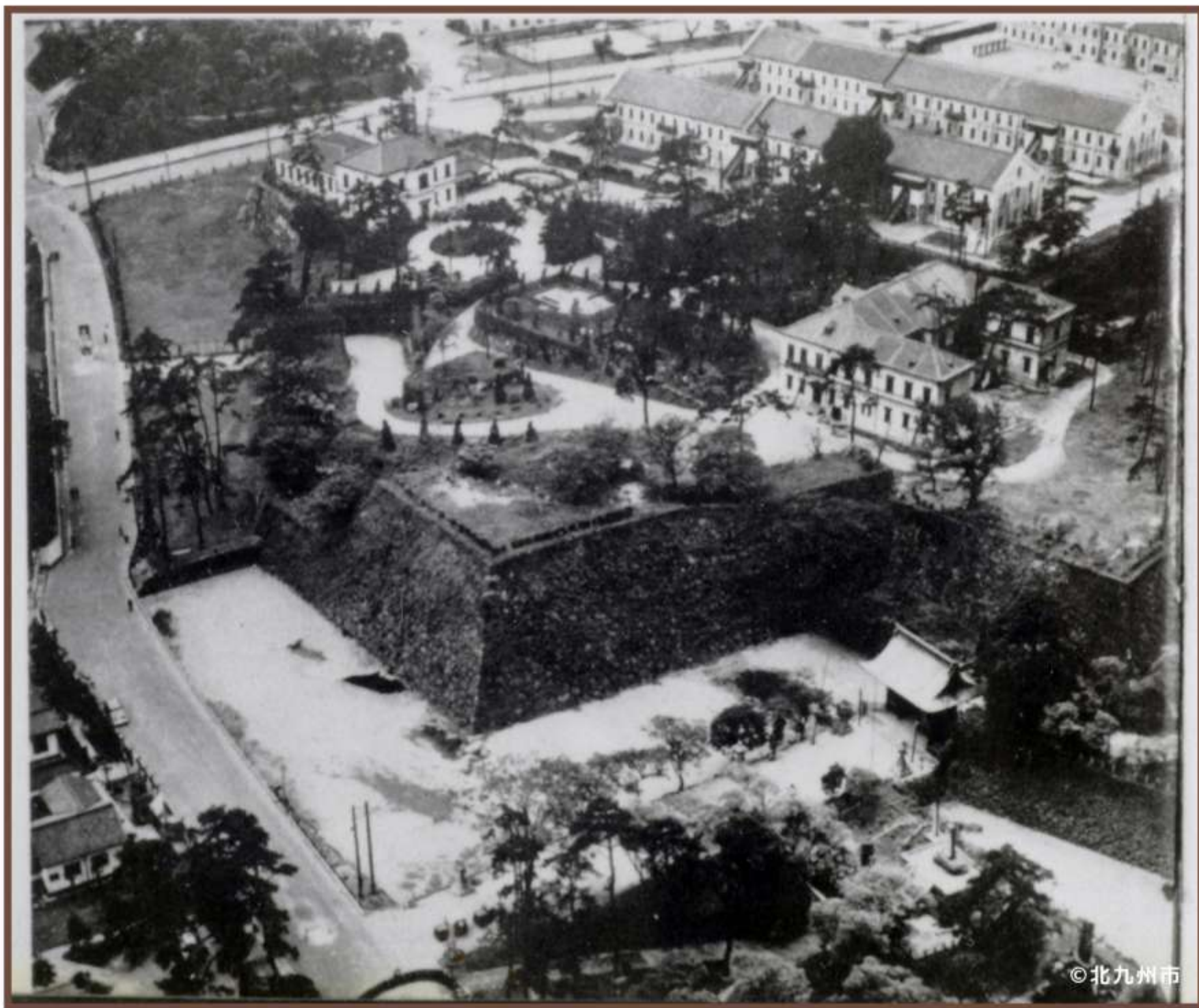
©北九州市

現小倉南区

小倉競馬場 下見所

社団法人小倉競馬倶楽部。昭和10年。
昭和6年に開場した小倉市北方（現・小倉南区）にて。

パドックで熱心に馬を観察する人々。
関西以西の唯一の公認競馬場であった。



現小倉北区

小倉城天守閣址

これは戦後撮影されたものであるが、旧天守閣址をしめす珍しいもの。

旧十二師団司令部その他軍関係の建物がまだ残存している。

昭和34年に天守閣は再建された。



現小倉南区

文化記念プール開園式

第45回国民体育大会のメイン会場。



現小倉北区

小倉中学校優勝パレード

甲子園の夏の全国中等（高校）学校野球大会において、
小倉中学校は昭和23、24年と連続優勝の偉業を成しとげた。
好投手福島選手の活躍は、今も尚語り伝えられている。
これは昭和23年、魚町三丁目を行進する選手一同。



©北九州市

現小倉南区

曾根干拓

用地造成のため昭和28年から工事がすすんでいる模様。



現小倉北区

赤坂延命寺海岸付近

大正初期の赤坂延命寺付近（現・小倉北区）。
現在海は埋め立てられ、国道199号線が通って、昔の面影はない。



©北九州市

現小倉南区

建設中の広徳小学校

小倉区徳力団地は昭和44年に約2130戸の九州一のマンモス団地になった。

団地の子らが通学する広徳小学校は、鉄筋4階建て14学級。

写真の年には、ひとまず5年生までが入ったとされている。

(参考：市政だより昭和44年3月15日号4ページ)